

第70回高知産科婦人科学会学術集会
一般演題 2020.12.12

高知ファミリークリニックにおける
胎児・新生児の形態異常と
胎児超音波スクリーニングの成績

高知ファミリークリニック
福永寿則、山田るりこ

I. 胎児経腹超音波検査の方法

時期：妊娠 12 週以降の妊婦健診ごとに毎回

担当：妊娠 22 週、30 週、36 週前後の 3 回は医師
それ以外は研修を受けた検査技師

II. 対象

対象期間	2016.1-2020.9
当院分娩	2133
他院で分娩・中期中絶等	118 ^{*1)}
合計	2251

*1) 切迫早産などの母体適応の転院は含んでいない。

Ⅲ. 胎児・新生児の形態異常発見時期・件数

当院での形態異常発見時期	紹介数	異常無	異常有
胎児期に診断・紹介 ^{*1)}	85	14	71
出生後に診断・紹介 ^{*2)}	31	4	27
合計	116	18	98

* 1) 胎児発育遅延(FGR)は除く

* 2) 副耳、血管腫・母斑を除く

4.35%

IV. 当院での所見と紹介先病院での診断

1. 胎児期に診断・紹介 (1)

部位	紹介時所見	紹介数	紹介先病院の診断			
			異常無	異常有	例数	経過・診断
頭部	脳室拡大	5	2	3	1	脳室拡大、経過観察
					1	脳室拡大 → IUFD
					1	脳梁欠損
	無頭蓋症	4	0	4	4	無頭蓋症
頸部	後頸部浮腫	3	1	2	1	後頸部浮腫・小耳症
					1	鼻骨欠損その他・染色体異常→中絶
	頸部嚢胞	1	0	1	1	右頸部嚢胞

IV. 当院での所見と紹介先病院での診断

1. 胎児期に診断・紹介 (2)

部位	紹介時所見	紹介数	紹介先病院での診断			
			異常無	異常有	例数	経過・診断
心・血管	心構造異常	10	4	6	1	房室中隔欠損症・大動脈縮窄症・21 trisomy 疑い
					1	完全大血管転位・房室中隔欠損症 →IUFD
					1	完全大血管転位
					2	ファロー四徴症
					1	動脈管瘤 (日齢6に消失)
	心室中隔欠損 (VSD)	20	3	17	17	VSDのみ : 15例は胎児期判明、出生後紹介
	血管異常	7	3	4	1	右大動脈弓
					2	左上大静脈遺残
					1	胎児臍静脈走行異常

IV. 当院での所見と紹介先病院での診断

1. 胎児期に診断・紹介 (3)

部位	紹介時所見	紹介数	紹介先病院での診断		
			異常無	異常有	例数
肺	左肺嚢胞性病変	1	0	1	1 先天性肺気道奇形 (CPAM microtype疑い) : 20週台後半から病変縮小不明となる
	左肺低形成疑い	1	0	1	1 原発性胸水貯留
腎	腎盂拡張	18	0	18	18 水腎症軽度 (8例は当院で分娩)
臍帯	単一臍帯動脈	5	0	5	5 単一臍帯動脈、全例他の異常なし

IV. 当院での所見と紹介先病院での診断

1. 胎児期に診断・紹介 (4)

部位	紹介時所見	紹介数	紹介先病院での診断			経過・診断
			異常無	異常有	例数	
腹部	臍帯ヘルニア	2	0	2	2	臍帯ヘルニア : 1例は横隔膜肋骨形成異常Catrell症候群等疑い
	横隔膜ヘルニア	1	0	1	1	横隔膜ヘルニア
	腹部嚢胞	1	0	1	1	染色体異常疑い (特徴的顔貌・十二指腸狭窄)
	腹水	1	0	1	1	小腸穿孔による胎便性腹膜炎
	腸管拡張疑い	1	1	0	0	

IV. 当院での所見と紹介先病院での診断

1. 胎児期に診断・紹介 (5)

部位	紹介時所見	紹介数	紹介先病院での診断			
			異常無	異常有	例数	経過・診断
四肢	大腿骨短縮	1	0	1	1	四肢短縮症
	両手首屈曲	1	0	1	1	関節拘縮その他・18trisomyで中期中絶
	手足多指症 (上の子も)	1	0	1	1	先天性四肢多指症 (上の子も)
その他	胎児浮腫	1	0	1	1	胎児水腫

IV. 当院での所見と紹介先病院での診断

2. 出生後に紹介 (1)

部位	紹介時所見	紹介数	紹介先病院での診断		
			異常無	異常有	例数
耳	外耳奇形	1	0	1	1 左小耳症+外耳道閉鎖
顔	顔貌異常・REFER	1	0	1	1 21 trisomy (PDA,ASD) : 19週胎児スクリーニングなど異常なし
心	心雑音+VSD等	11	2	9	7 VSD
					2 心房中隔欠損(ASD)閉鎖、動脈管開存(PDA)閉鎖
	心雑音 : 新生児エコーせず	9	1	8	2 VSD/ASDダブルシャント
					2 VSD
				4 末梢性肺動脈狭窄症	
外陰部	尿道下裂	1	0	1	1 尿道下裂

IV. 当院での所見と紹介先病院での診断

2. 出生後に紹介 (2)

部位	紹介時所見	紹介数	紹介先病院での診断			
			異常無	異常有	例数	経過・診断
四肢	右膝関節過伸展	2	0	2	2	先天性膝関節脱臼 : 1例シーネ固定、1例経過観察
	多指症	2	0	2	2	多指症
	右足癒合指	1	0	1	1	右多合趾症→手術予定
	右足関節外反	1	0	1	1	両かかと足で経過観察
	内反足	2	1	1	1	内反足治療

V. 特殊な症例：脳幹腫瘍の1例

妊娠中～生後1か月健診までの当院管理中は
気づかず、生後3か月過ぎに痙攣あり判明。

VII. 結論

出生後判明した 21trisomy の 1 例、生後 3 カ月で判明した脳幹腫瘍の 1 例は胎児期にチェックできなかったか？ また、心室中隔欠損の発見率の改善余地は？ などの検討課題は残るが、その他の大きな異常のほとんど、特に心臓の大奇形の 5 例はすべて妊娠中に気づき、高次医療機関に紹介することができている。